

# CSRの基本的な考え方

NEXCO西日本グループは社会の一員として、社会と企業の持続的発展を目指して、CSRを経営戦略の中核に位置付け、さまざまなステークホルダーとの相互交流を深め、事業活動のあり方を見つめ直していくことはもちろん、経済・環境・社会の諸問題に関して、社会の信頼を得るためにその責任を果たしていきます。

## グループ理念

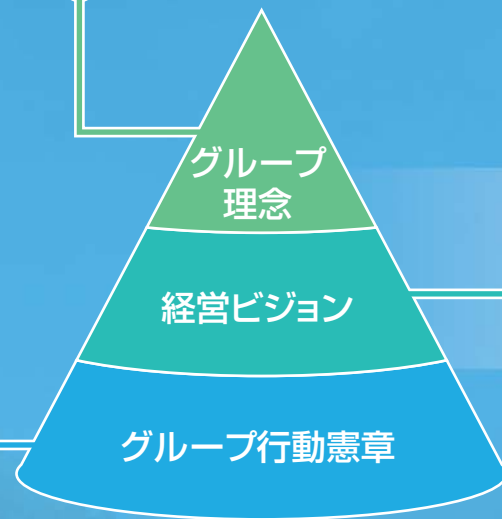
私たちはお客様満足を高め、地域の発展に寄与し、社会に貢献する企業グループをめざします。

当グループは、高速道路の重要な社会的インフラとしての使命を果たし、常に全ての活動において企業の社会的責任(CSR)の遂行を共通の目標とします。

## 経営ビジョン

5つのステークホルダーへの約束

- お客様 お客様に満足と喜びをお届けします
- 社会 地域を支える良質な道路空間を整備します
- 投資家及び国民の皆様 公正、透明、健全な企業をめざします
- 社員 社員が自立し、働く喜びと誇りを持てる会社をめざします
- グループ会社(取引先) 相乗効果を生み出し、ともに成長することをめざします



## スローガン

いいことやろう西日本、  
社会に尽くそう西日本。  
高速道路で西日本。

## CSRテーマ

人・地域・未来を  
つなぐ

## グループ行動憲章

グループで目的と将来展望を共有し、成長することを目指し、私たち一人ひとりが高い理念と規範に基づき行動することが基本であるとの認識のもと、グループの役員及び従業員が様々な局面で実践すべき指針として、2007年10月に「NEXCO西日本グループ行動憲章」を制定しました。

- 1.法令や社会のルールを遵守し、いかなる場合であっても、決してこれに反する行為は行いません。
- 2.自由で活発な創造的企業活動を、公正を旨として行います。
- 3.一人ひとりがグループにおける自らの役割と権限を自覚し、その責任を全うするため、全力を尽くします。
- 4.企業活動における情報の重要性を踏まえて、情報の入手と活用及び適正な取り扱いを常に心がけて行動します。
- 5.5つのステークホルダー(お客様、社会、投資家及び国民の皆様、社員、グループ会社(取引先))の信頼に応えます。

## NEXCO西日本グループのCSRに対する考え方

高速道路という重要な社会基盤を運営するという使命を確実に果たし、人と地域、地域と社会を“つなぐ”ことで産業・経済の発展と国民の生活向上に貢献し、さらに、ノウハウや資源を生かして社会の課題解決に取り組み、社会を持続的発展へと“つなぐ”媒体となること、これが私たちグループの存在意義であり社会的責任と考えます。私たちは、“つなぐ”を体現することで、ステークホルダーに支持され、信頼される企業を目指します。

## 安全・安心、サービスでつなぐ

お客さまや国民の最大の期待は、安全・安心で快適な道路空間と行き届いたサービスを継続的に提供するという、私たちの本業を確実に遂行することです。高速道路により、人と地域、地域と社会を、安全・安心そしてサービスでつなぐことが、私たちの最大のCSRと考えます。

## 地域社会の活力をつなぐ

私たちは高速道路のエキスパートとして、西日本全域で事業活動を展開し、大きな社会的役割を担っています。地域社会の良きパートナーとして、高速道路はもとよりグループの経営資源やノウハウを生かした活動により、地域社会の活力を持続的につなぐことに貢献します。

## 人と社会・世界をつなぐ

少子高齢化や国際社会との交流が進むこれからの日本において、多様なお客さまのアクセシビリティの向上や、社員の働きやすさへの配慮は、人を通じて社会の活性化を促すことにつながります。さらに、私たちの技術・ノウハウを外に向けて展開し、社員と技術を世界につなぎます。

## 子どもたちに未来をつなぐ

未来の日本を支える子どもたち。その子どもたちを医療の問題、環境問題、そして安全や教育の問題など、さまざまな課題が取り巻いています。こうした問題の解決に取り組み、子どもたちに健全な未来をつなぐことは、私たちの重要な責任と考えます。

# CSRの推進と展開

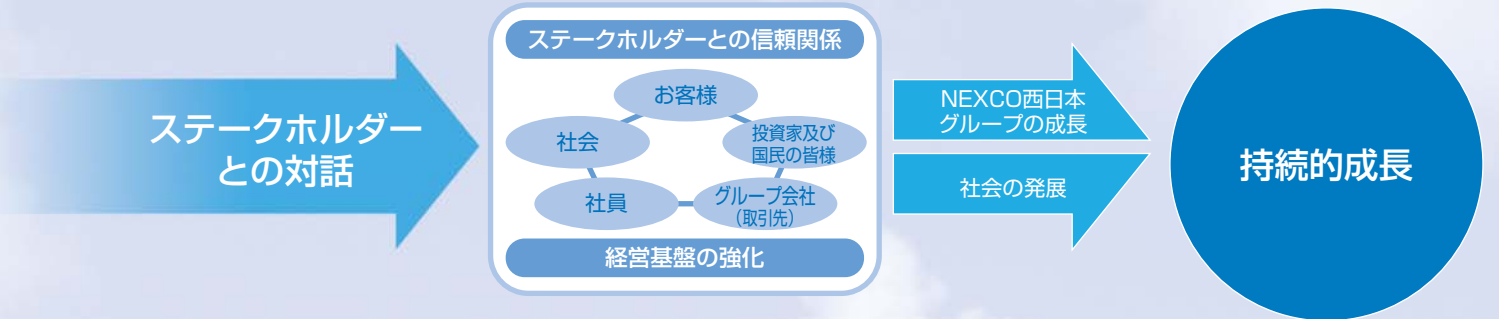
## ステークホルダーとともにCSRを発展させる

私たちはCSRを推進・発展させていくためには、ステークホルダーとの対話が重要だと考えています。「情報を提供する」というような一方通行の流れではなく、「考え方を共有する」という行動様式へと転換し、双方向のコミュニケーションを促進させることによって信頼関係づくりを目指します。

中でも、お客様、投資家及び国民の皆様、社会、社員、グループ会社

(取引先)の5つのステークホルダーを特に重要なものにとらえ、その期待(ニーズ)を的確に把握し、事業活動のプロセスにフィードバックします。

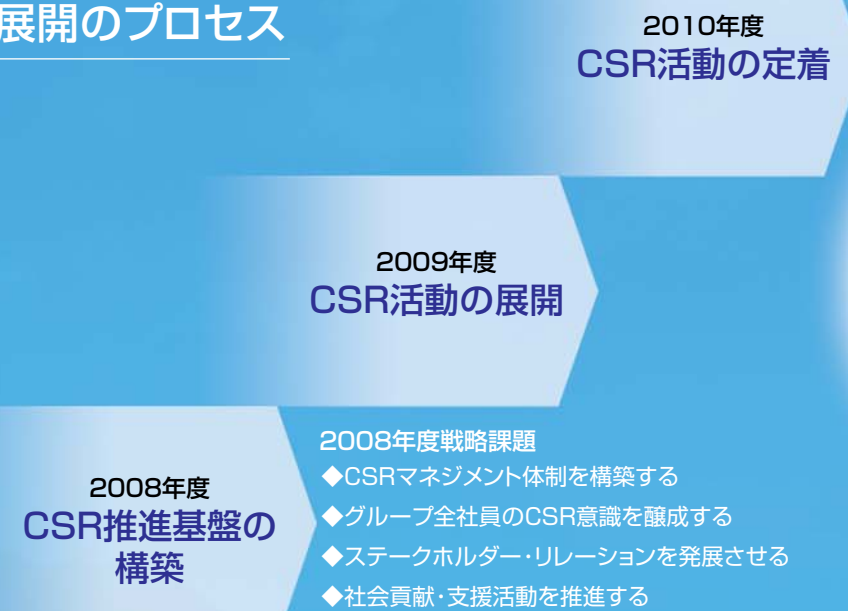
このようにステークホルダーからの期待に応えることで、企業価値が高まるとともに、社員のモチベーションも向上します。さらに、これが社会の持続的な発展とNEXCO西日本グループの成長を同時に実現するという良い循環を生み出すものと考えています。



## NEXCO西日本グループのCSR活動方針

- ① 経営の透明性を確保し説明責任を果たすとともに、ステークホルダーとの対話と交流を促進します。
- ② ステークホルダーの期待を事業活動のプロセスに組み込み、本業で企業としての責任を果たします。
- ③ 公共事業者としての社会的役割、これまで培ったノウハウや資源を生かして、社会が抱える課題解決に取り組み、社会の持続的発展に貢献します。

## CSR展開のプロセス

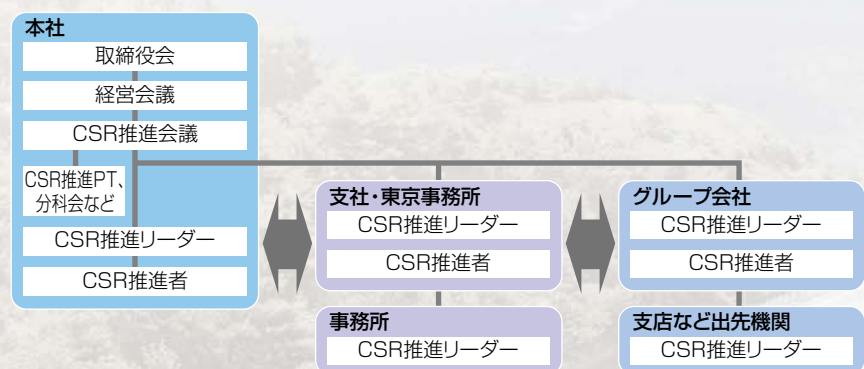


CSR中期目標  
すべてのステークホルダーから信頼され、NEXCO西日本でなければと言われるグループとなる

- 2008年度戦略課題
- ◆ CSRマネジメント体制を構築する
  - ◆ グループ全社員のCSR意識を醸成する
  - ◆ ステークホルダー・リレーションを発展させる
  - ◆ 社会貢献・支援活動を推進する

## CSRマネジメント推進体制

NEXCO西日本グループでは、グループ全体でCSRの取り組みを推進していくため、2008年9月にCSR推進体制を立ち上げました。本社に部門長で構成するCSR推進会議を設置し、部門横断的な会議体制を構築しました。また、各組織にCSR推進リーダー、CSR推進者を配置することで、推進に向けた組織内の役割を明確にし組織間の連携を強化しています。



## CSR推進担当部署責任者からのコメント

公共インフラ企業として、信頼される企業を目指します

2007年10月、本社経営企画部にCSR推進室が発足しました。高速道路という公共インフラ運営を本業とする当社グループの社会的責任とは、本業を中心にどこを目指し何に重点的に取り組んでいくのか。推進室の発足以来、CSRの観点から事業活動を点検するとともに、役員・社員の意識、当社グループに対する社会の期待などを調査し、当社グループのCSR基本方針を、「つなぐ」をキーワードとしたテーマと3つの活動方針として取りまとめ、このたびCSRレポートとして総括致しました。当社グループのCSRはまだ緒に就いたばかりです。さらに、ステークホルダーとのコミュニケーションを深めながら、信頼される企業を目指します。



経営企画本部  
経営企画部 CSR推進室  
室長  
印南 亮一